

令和5年度 プロジェクト研究 学習指導案

学 校 名 県立北中城高等学校
実施クラス 1年5組
授 業 者 池間 睦子
担 当 主 事 幸地るみ子

1. 単元名 Lesson 6 A Wheelchair Traveler
使用教科書 MY WAY English Communication I (三省堂)

2. 単元目標

- (1) 現在分詞や過去分詞、分詞構文の意味や用法、考えを述べるために必要となる語彙や表現を理解し、ノーマライゼーションについての自身の考えを伝える技能を身に付ける。
【知識及び技能】
- (2) バリアフリーに関して読んだり聞いたりしたことについて、自分事として考え、誰もが暮らしやすい社会と関連付けながら自分の考えや意見を伝える。【思考力, 判断力, 表現力等】
- (3) バリアフリーに関して読んだり聞いたりしたことについて、誰もが暮らしやすい社会と関連付けながら、自分の考えや意見を聞き手に理解しやすいように伝えようとする態度を養う。
【学びに向かう力, 人間性等】

<学校全体として身に付けさせたい資質・能力>◎本単元に関連する力

◎言語能力	◎情報活用力	◎問題発見・解決能力
-------	--------	------------

3. 単元について

(1) 生徒観

明るく元気に溢れ、お互いを思いやることのできるクラスである。部活動に所属している生徒が多く、学校行事や授業においても積極的に参加し、周りを取りまとめている。学年全体及び当該クラスの英語 GTZ は実力養成レベル C3 で、英語への興味・関心が高い生徒がいる一方、英語に対して苦手意識を持つ生徒もいる。

リーダーシップに長ける生徒、苦手だが積極的に授業に参加する生徒が互いを思いやる態度が身に付いており、クラス全体として良好な雰囲気や関係性が培われているため、ペアワーク・グループワークには協力して取り組むことができる。生徒間で学び合いができる活動を設定し、達成感や充実感を与えながら内容理解を深める授業展開を工夫していきたい。

(2) 教材観

本単元は、日本人の車いすユーザーがブログを通して、世界旅行の経験とそこで感じ・気づいたことを伝えながら、人々の考えや態度の変化によって世界は変わること考える単元である。「バリアフリー」という言葉、助け合うことの大切さを理解はしているが、自分や自分の周りには関係がない、画面の向こう側でのこと等、人間の共生・共存について考える機会は少なく、「誰もが豊かに暮らして生きていく」ことに対する意識の希薄さは否めない。

よって、本単元ではバリアフリーの概念を正しく理解し、自分事として捉え、さらに障害の有無にとらわれず人々が豊かな生活を送ることができるノーマライゼーションについても考えさせたい。パフォーマンス課題を、「沖縄観光大使として、各国の日本大使館で沖縄のバリアフリー観光ガイド制作会見を開く」のテーマで、スライド等とともに発表する課題を設定する。自分だけの小さな世界観ではなく、様々な人と共生していくイメージを捉えさせ、自分にできること、沖縄県にできること等を積極的に考えることができる題材として、授業展開を工夫し、生徒間活動も積極的に取り入れていきたい。

(3) 指導観

「沖縄観光大使として、各国の日本大使館で沖縄のバリアフリー観光ガイド制作会見を開く」をテーマに、発表原稿を用いてプレゼンテーションを行うパフォーマンス課題を設定する。本単元で身に付けさせたい資質・能力、単元目標、さらに評価の視点（観点別評価基準）を明確に提示することで、指導と評価の一体化を図る。生徒と教師で同一の方向性を持ちながら、単元内容のみではなく「バリアフリー」「ノーマライゼーション」を理解した上で、さらに自分や周りの環境、世界にアピールできる沖縄県の姿を自由にイメージさせ、パフォーマンス課題に向けての流れや有用な語彙・文法等の定着と、自分の想いや考えが聞き手に伝わるような発表の態度を養っていく。本単元で学んだ事を活用しながら、バリアフリーな共生社会を実現する上で大切なことは何かを自分事として捉える視点を育てていきたい。

4. 単元の総時間 全10時間

5. 単元の評価規準 【記録に残す評価：「話すこと（発表）」】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①【知識】 現在分詞や過去分詞、分詞構文、It …that 構文の意味や用法、考えを述べるために必要となる語彙や表現を理解している。</p> <p>②【技能】 本単元で学習した表現を基に、ノーマライゼーションについての自身の考えを伝える技能を身に付けている。</p>	<p>③バリアフリーに関して読んだり聞いたりしたことについて、自分事として考え、誰もが暮らしやすい社会と関連付けながら自分の考えや意見を理由とともに話して伝えている。</p>	<p>④バリアフリーに関して読んだり聞いたりしたことについて、自分事として考え、誰もが暮らしやすい社会と連付けながら、自分の考えや意見を理由とともに話して伝えようとしている。</p>

6. パフォーマンス課題：（記録に残す評価）「話すこと（発表）」

「沖縄観光大使として、各国の日本大使館で、沖縄のバリアフリー観光ガイド制作会見を開く。」

【成果物】プレゼンテーション資料(スライド等)

【条件】①単元で学習した語彙や表現を活用し、スライド等の視覚教材を使用しながら、聞き手が理解しやすいように伝えている。

②情報を整理し、観光ガイド提案を理由や根拠とともに具体的に述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に間違いがなく、【条件①】を満たしている。	【条件②】を満たし、具体的提案や理由を自分の考えを踏まえながら、聞き手の関心を引くよう工夫して述べている。	Bを満たした上で、聞き手に伝わるよう十分配慮しながら情報や自分の考えを詳しく述べて伝えようとしている。
b	語彙や表現の選択に多少の誤りはあるが、【条件①】を満たしている。	多少の誤りがあるが、【条件②】を満たしている。	聞き手を意識しながら、声の大きさ、表情やジェスチャーを使用しながら話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

7. 単元の指導計画

評価方法： ○指導に生かす評価 ◎指導に生かすとともに記録して総括に用いる評価

学習活動の領域：「聞く」＝L 「読む」＝R 「話す（やりとり）」＝I 「話す（発表）」＝P
「書く」＝W

時間	☆本時の目標 ・学習活動	学習の領域	評価の観点と評価方法
1	<p>☆単元目標を理解する。</p> <p>☆パフォーマンス課題について理解する。</p> <p>☆バリアフリーについて考え、関連表現を理解する。</p> <p>・「フォトランゲージ活動」①：「ノーマライゼーション社会」「大使館」のイメージ、役割、日本と各国のつながりを理解しながら、世界から沖縄へ焦点を変え、自分事として捉える。</p> <p>・Discussion in groups：自分たちが今生きている環境や社会について話し合い、本単元のパフォーマンス課題について、共通理解を図る。</p> <p>・Section1 (p. 86-87) 新出語彙の理解と習得、本文音読、チャンク/パラグラフ理解(ペア→全体)</p> <p>・Section1 内容理解：Summary</p>	L/R/I	<p>○知①、②</p> <p>ワークシート</p> <p>振り返り</p>
2	<p>☆誰もが暮らしやすい社会を自分事として考える。</p> <p>☆新出文法(現在分詞形容詞的用法)を理解する。</p> <p>・Warm-up Listening</p> <p>・Reading in pairs / Q & A (p. 86)(ペア→全体)</p> <p>・Retelling Activity in pairs</p> <p>・Writing and Interacting in pairs(p. 87)</p> <p>・現在分詞を活用しながら、自分の考えを書く。</p>	L/R/I/W	<p>○知①、②</p> <p>○思③</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>振り返り</p>
3	<p>☆イタリアにおける人々の行動について理解する。</p> <p>☆新出文法(過去分詞形容詞的用法)を理解する。</p> <p>・フォトランゲージ活動②：世界遺産も多くあるイタリア、「観光における良い面」vs.「不便さ」に気づき、沖縄にも関連している面を理解する。(写真を見て気づいたことや感想を、全体で確認/グループで、沖縄との類似点や相違点について意見交換)</p> <p>・Section2 (p. 88-89) 新出語彙の理解と習得、本文音読、チャンク/パラグラフ理解(ペア→全体)</p> <p>・Section2 内容理解：Summary</p>	L/R/I	<p>○知①、②</p> <p>○思③</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>振り返り</p>
4 本時	<p>☆多様な人々と共存する重要性について考える。</p> <p>☆新出文法(過去分詞形容詞的用法)を理解表現する。</p> <p>・Warm-up Listening</p> <p>・Reading in pairs / Q & A (p. 88)(ペア→全体)</p> <p>・Retelling Activity in pairs</p> <p>・Writing and Interacting in pairs(p. 89)：過去分詞を活用しながら、自分の考えを書く。</p> <p>・自分自身、又は家族の誰かが「これまでに誰かを助けたこと(経験)」をペアで伝え合う。</p>	L/R/I/W	<p>○知①、②</p> <p>○思③</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>振り返り</p>
5	<p>☆異なる国の人々の行動について理解を深める。</p> <p>☆分詞構文の意味や用法を理解する。</p> <p>・フォトランゲージ活動③：ギリシャの人々の行動か</p>	L/R/I	<p>○知①、②</p> <p>○思③</p> <p>行動観察</p>

	<p>らみえる、沖縄の人々との「共通点」を考える。「住みやすさ」vs.「住みにくさ」、「自分ならどう対応するか」の意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Section 3 (p. 90-91) 新出語彙の理解と習得、本文音読、チャンク/パラグラフ理解(ペア→全体) ・Section 3 内容理解：Summary 		<p>ワークシート</p> <p>振り返り</p>
6	<p>☆手を差し伸べる側と求める側の気持ちや行動について考える。</p> <p>☆分詞構文の意味や用法を理解し、表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Warm-up Listening ・Reading in pairs / Q & A (p. 90)(ペア→全体) ・Retelling Activity in pairs ・Writing and Interacting in pairs(p. 91)：分詞構文を活用しながら、自分の考えを書く。 ・自分自身、又は家族の誰かが「これまでに誰かに助けられたこと(経験)」をペアで伝え合う。 	L / R / I / W	<p>○知①、②</p> <p>○思③</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>振り返り</p>
7	<p>☆様々な国を比較し、暮らしやすい環境や社会について自分事として考える。</p> <p>☆It is …that 構文の意味と用法を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランキング活動 in group：ハワイ、イタリア、ギリシャ、それぞれの国の人々の行動を基に、どの国が最も住みやすいのか、それが「観光」とどう関連していくのかを考え、議論する。沖縄の人々との「共通点」を考え、沖縄にも関連するであろう面を意識させる。またパフォーマンス課題に向けた情報の整理を行う。 ・Section 4 (p. 92-93) 新出語彙の理解と習得、本文音読、チャンク/パラグラフ理解(ペア→全体) ・Section 4 内容理解：Summary 	L/R/I	<p>○知①、②</p> <p>○思③</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>振り返り</p>
8	<p>☆すべての人に対応する「ノーマライゼーション」の持つ意味を考え理解する。</p> <p>☆It is …that 構文の意味と用法を理解表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Warm-up Listening ・Reading in pairs / Q & A (p. 92)(ペア→全体) ・Retelling Activity in pairs ・Writing and Interacting in pairs(p. 93)：It is…that 構文を活用しながら、世界の人々の行動と自分の行動を比較しながら、これからの自分の行動や役割について英文を書き、ペアで意見交換する。 <p>【指導の留意点】</p>	L / R / I / W	<p>○知①、②</p> <p>○思③</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>振り返り</p>
9	<p>☆一人ひとりが暮らしやすい環境や社会作りについて、沖縄県 ver. を考える。</p> <p>☆パフォーマンス課題に向けて企画書作成、実践準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Small Talk in different pairs ・Writing Documents and Making Materials：一人一台端末によるスライド制作及び原稿作成(単元を貫く問い、パフォーマンス課題の目的や役割等の設定内容を再確認する。) 	L/P/W	<p>○知①、②</p> <p>○思③</p> <p>○態④</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>振り返り</p>

10	☆パフォーマンス課題「話すこと(発表)」 ：情報を整理し自分の考えを具体的に伝え、視覚教材を活用しながら聞き手が理解しやすいよう表現する。 ・ALT/教師のもとへ行き、テストを受ける。 ・残りの生徒はまとめ問題等を行う。 ・振り返り Forms	L/P	◎知①、② ◎思③ ◎態④ 話す(発表)
----	--	-----	-------------------------------

7. 本時の展開 (4 / 10 時間)

本時の目標 ①多様な人々と共存する重要性について考える。

②新出文法(過去分詞形容詞的用法)を理解し表現する。

	学習活動 ・ 指導上の留意点	領域	評価規準・方法
導入 (5分)	【学習活動】 Small Talk / Listening ・「1 min. Talk」 in pairs If I had a super power, I would ... 【指導上の留意点】 ペア活動(ペアの欠席)支援 ・Listening as review	L / I	○知①、②
展開 (40分)	【学習活動1】 ・Reading in pairs、Q & A (p.88)(ペア→全体) 全体で最終確認する 【学習活動2】 Retelling Activity in pairs ・Key wordsを確認しながら、各段落リテリングを行う。 【学習活動3】 Writing and Interacting in pairs ・p.89 check 問題を確認 過去分詞を活用しながら、自分の考えを書く 自分自身、又は家族の誰かが「これまでに誰かを助けたこと(経験)」をペアで伝え合う 【指導上の留意点】 聞き手が理解しやすいよう、シンプルで伝わりやすい表現を意識させる。	L / R / I / W	○知①、② ○思③ 行動観察 ワークシート
まとめ (5分)	【学習活動】 ・活動の自己評価及び振り返り 【指導上の留意点】 「共存」に対する意識を、「世界規模」及び「学校」、「学校内」にも目を向けられるような声かけを行う。		振り返り

8. 評価の計画 (本単元の主となる記録に残す評価の領域を※で表記)

読むこと	本単元は該当なし
聞くこと	本単元は該当なし
話すこと (やりとり)	本単元は該当なし
話すこと (発表)	指導案参照※
書くこと	単元テスト